
生きる意味

MH

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生きる意味

【コード】

N0913I

【作者名】

MH

【あらすじ】

人生に絶望した少女が生きるということについて考え成長していく少女の記録物語

少女の記録 第1章

自分とは何か。なぜ産まれて来たのか。なぜ生きているのか。人生に絶望した時、人は初めて己の醜さと愚かさ、弱さに気付く。なぜ自分のような人間がこの世に産まれてきたのか、なぜ生きているのだ、と。完璧な人間などこの世に存在しないにも関わらずいい完璧を目指し失敗してしまう。ついついさらに上へと欲張ってしまふ。人は皆、自分が一番かわいく結局は自分が有利になることばかりを考える。そうでなければなぜ温暖化などという地球環境の問題が発生するのであるのか。

これは生きることに絶望したとある少女が生きる意味について考え、どん底から必死に抜け出そうとするまでの物語である。

第一章 どん底

少女は自問自答していた。

あなたは何で生きてるの？

死ぬことが出来ないから生きてるだけ。

じゃあ誰かが殺しに来たら死ぬの？

私の命は私のもの。死ぬか生きるかは私が決める。誰にも渡さないし決めさせない。でももしもそうになったらそれはそれで運命だから仕方がないのかも。

あんたがもし本当に死んだとしたらいったい何人の人が泣いてくれると思う？

ここで自問自答はいつも終わる。思考回路がシャットダウンするからだ。こんなことを考え始めるようになったのはいつ頃からだったろうか。そろそろ寝よう、明日も学校だ。少女はカバンに教科書を

詰めため息混じりに床についた。

少女は思っていた。自分が幸せになる資格などない。自分を産み落とした母親に対し愛情を持つことがどうしてもできなかったからだ。昔から話しが合わず喧嘩をするたびに口汚く罵り、酷い言葉を浴びせかける母親に少女はいい加減うんざりしていた。絶対的存在である母親に存在価値を否定された子供は何を思い生きていけばよいというのだろうか、そんな母親をどうして許すことが出来ようか。少女は自分を施設に入れようかと考え悩んでいた母親を知っていた。母親にも非はあるものの、少女はそこまで母親を追い詰め傷つけてしまったという現実には涙を流した。なぜこんなふうになってしまったんだろう、自分は何て酷いやつだ、しかしやはり関係を修復させようとは思わなかった。

次の日、学校に行くことと高校受験の話しで持ちきりだった。昔から面倒くさがり屋だった少女は両親が希望するレベルの高校より確実にトップな成績を収めることが確信出来る少しレベルの低めの高校を選んだ。

この選択で後に彼女の人生も考えも大きく変わることなどこの時の少女は知る由もなかった。

家に帰宅した少女は母親に自分が行くことにした高校の話しをした。母親は案の定気に入らなく、少女の高校選択により二人の関係は更に悪化した。

この時少女は悟った。

この人は自分の思い通りにならなければだだをこねるわがままな子供と一緒に。ただの低脳なおばさんだ。

少女は高校選択と同時に母親を母親として見るのをやめた。それと同時に自分の実の母親にそんな感情しか持てないことに悲しみを抱き何回も心の中で泣き叫んだ。

なぜ私自身を見てくれないの？

第2章へ出会いへ

第2章へ出会いへ

ああ、今日も学校か。制服に着替えながら少女はため息をついていた。入学と同時に勉強に力を入れようと決めていた少女は予想通り簡単に上位の成績をとることが出来ていた。

知的にも人間的にもみんなバカばっか。ついでにくだらないルールで生徒を支配している教師もバカばっか。世界が狭いな。

学校行って適当に友達とうまくやりくりして家に帰って、

毎日同じことの繰り返し。

つまんないな。

少女は冷めた感情で毎日を過ごしていた。

そんな生活もすぐに過ぎ去りいよいよ進路決定をしなければならなくなった少女は進学を考えていた。

私の成績なら学校推薦は余裕でもらえる。どの学校に進学しようか。

少女は悩んでいた。

そんなある日、母親が一つの大学を少女に薦めた。

家から通えて少女の好きな分野の勉強ができる学校だった。

この学校にしよう。もしも落ちたら就職しよう。

無事に学校推薦をもらえた少女は面接を受けた。

もし落ちたらどうするの？

就職することを頑なに嫌っていた母親からの毎度の問いかけに少女は答えた。

私を落とす学校側に目がないだけの話しよ。

少女は堂々合格した。

私の好きな分野の学校を見つけてくれてありがとう。

少女は自分のことを気にかけてくれたのだと、合格と同時に母親に感謝した。

新しい生活が始まる。

少女は大学に入学した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0913i/>

生きる意味

2010年10月9日21時55分発行